

事業名	江の島での平成の強力復活による観光及び災害時に必要なバリアフリー化事業		
団体名	特定非営利活動法人 湘南ウォーターセーフティ協会	担当課名	観光シティプロモーション課
事業期間	2019年(平成31年)4月1日～2020年(令和2年)3月31日		
事業費	1,419,370円(うち藤沢市負担金1,414,425円)		
目的	<p><事業の目的> 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、完全バリアフリーではない江の島の頂上に乗ってみたい車いす利用者等に対し、ジンリキ(けん引式車いす補助装置)等を活用したサポートを行う仕組みを構築し、文化として地域に根ざすこと。</p> <p><協働の目的> ・市が開催するイベント等の公共性を活用し、多くの方に情報提供することが可能になり、NPO法人の強みである知識や、人脈を十分に発揮することができる。 ・市と協働することにより、信頼性が担保され、ボランティア人材確保が継続的に期待できる。 ・合理的配慮の提供やノーマライゼーションが必要とされるなか、観光を切り口に本事業が関連部門に周知できるなどの効果を期待できる。</p>		
目標	<p>・車いす利用者等で江の島頂上を目指す全国の希望者に対し、周囲のボランティアで集まったサポーターたちが、ジンリキを活用しながらチームで人力搬送することにより、安全に観光や避難を行うことができるようになる。</p>		
達成度・成果・効果	<p><事業の達成度> 団体 50% 担当課 50%</p> <p>・これまでの経験をもとに、現場で安全対策管理等を構築したという面では評価できる。 ・通年で実施することを理想としていたが、文化として地域に根ざすという目的の達成にまで至ったとは言い難い。</p> <p><協働の達成度> 団体 30% 担当課 40%</p> <p>・15回予定していたイベントの内、10回が天候等で実施できなくなったこともあり、成果や効果は一概には言えないが、市民まつりで多くの方々に周知できたことは成果だと感じる。 ・市民への事業周知のみならず、市職員(福祉部門)に体験をとおして周知できたことは良かった。 ・広報等による応募になかなか効果が現れなかった。 ・江の島のバリアフリーは永遠の課題であり、ソフト・ハードの両面で進める必要がある。そうした中、本事業がソフト面でのバリアフリーの手法の一つとして前進できたことは意義のあることだった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【チラシ】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【江の島強力プロジェクト】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【市庁舎強力体験会】</p> </div> </div>		
課題・対応策	<p>・組織基盤充実のため、主に費用的な助成を受けたことは助かった。しかし、行政とアイデアを出しあって検討するという部分までは進めていなかった。 ・1年間だけだと中途半端になり、もったいないと感じた。 ・連絡を取り合う手段が限られ、きめ細かく意思疎通を図ることができなかった。</p>		